

令和2年度 特別選抜

小論文問題

注意事項

1. 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙と解答用紙の定められた欄に必ず受験番号を記入下さい。
3. 問題用紙と解答用紙は別々になっています。表紙は切り離さずに解答下さい。
4. 問題用紙は表紙を入れて2枚、解答用紙は1枚、その他に下書き用紙が1枚あります。
5. 解答時間は60分です。
6. 解答は解答用紙に横書きで記入下さい。

受験番号	
------	--

小論文 問題

世界には食にまつわるさまざまな文化が存在している。普段から牛肉を食べる人たちもいれば、犬肉を食べる人たちもいる。生卵を好む人びともいれば、卵は加熱するのが当然だと考える人びともいる。逆に、動物の肉に加え、卵や乳製品も口にしないヴィーガニズムという考え方のもとに生活している人びともいる。また、たとえば鳥の肝臓を肥大化させたフォアグラなど、その生産方法が批判される食べ物もある。

日本列島のなかには、わかやまけん ひがしむろぐん たいじちよう和歌山県東牟婁郡太地町など、クジラ（鯨）を捕^とって食べてきた地域がある。だが国際的には、クジラは食べるべきではないと指摘されたり、その捕り方が残酷であると批判されたりもしてきた。捕鯨には、クジラの生態を調べるための調査捕鯨や、鯨肉販売を目的とした商業捕鯨がある。しかし国際的には、クジラが絶滅しないよう、原則として捕鯨自体が禁止されている。

日本政府や自治体、漁業関係者などは、捕鯨や鯨肉食は自分たちの伝統的な文化であると主張している。また国際的にも、「先住民生存捕鯨」、すなわち伝統的な生^{なりわい}業としての捕鯨は先住民の権利として認められており、アメリカやカナダなどの一部で実際に行なわれている。

あなたは、捕鯨や鯨肉食は文化であるから認められるべきであると考えるか、それとも、文化とはいえ認められるべきではないと考えるか。自分とは異なる立場の主張や反論も想定しながら、あなたの考えを理由とともに展開しなさい。その際、「文化」とは何かについても簡潔に説明しなければならない。なお、認められるべきである、認められるべきではない、いずれの立場で論述しても、評価には影響しない。（800字以内）